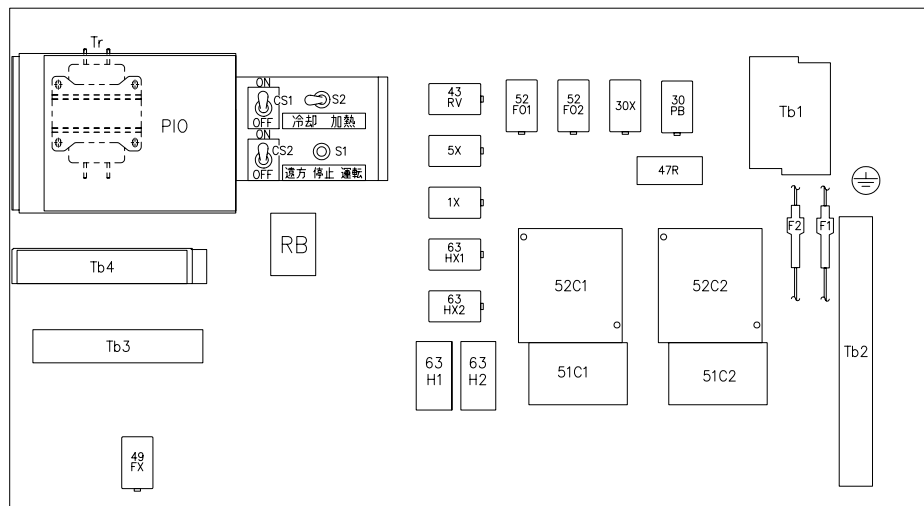


機器配置図



記号説明

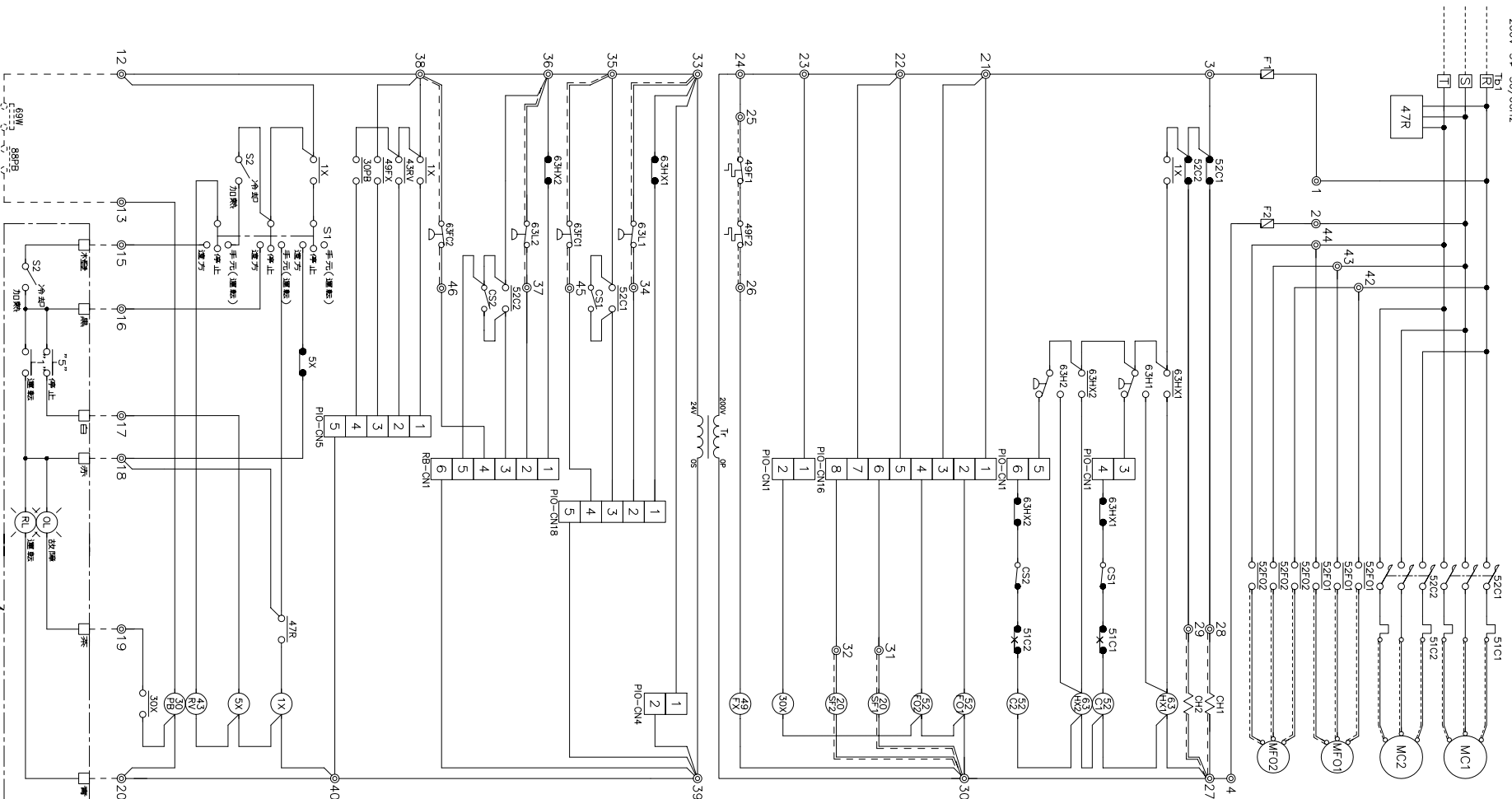
記号	名 称	記号	名 称
1	運転スイッチ	CLT	サーミスタ(コイル温度)
1X	運転リレー	CN	コネクタ
5	停止スイッチ	CS	サーキット運転スイッチ
5X	停止リレー	ET	サーミスタ(冷温水入口温度)
20SF	四方弁電磁コイル	F	ヒューズ(定格 250V 10A)
30PB	冷温水ポンプインターロックリレー	LT	サーミスタ(冷温水出口温度)
30X	故障表示リレー	MC	圧縮機モータ
43RV	加熱リレー	MFO	室外ファンモータ
47R	逆相防止リレー	OAT	サーミスタ(外気温度)
49F	ファンモータ過熱防止サーモ	OL	故障表示灯
49FX	ファンモータ過熱防止サーモ補助リレー	PIO	制御基板
51C	圧縮機オーバロードリレー	RB	入力基板
52C	圧縮機モータ電磁接触器	RL	運転表示灯
52FO	ファンモータ電磁接触器	S	スイッチ
63FC	ファンサイクリングスイッチ	Tb	ターミナルブロック
63H	高圧スイッチ	Tr	トランス
63HX	高圧スイッチ補助リレー		
63L	低圧スイッチ	<input type="checkbox"/> <input checked="" type="radio"/>	ターミナル
69W	フロースイッチ(現地手配)	——	盤内結線
88PB	冷温水ポンプ電磁接触器(現地手配)	-----	盤外結線
CH	クランクケースヒータ	----	現場結線

- 注1 現場では、冷温水ポンプのインターロック結線および電源配線が必要です。
端子番号#12, #13の間に冷温水ポンプ電磁接触器の○接点およびフロースイッチを直列に接続してください。
- 注2 操作回路を別電源にする場合は、端子番号#1, #2の下側(丸端子側)の結線を外し、ここへ電源を接続してください。
- 注3 遠方操作を行なう場合は、付属のリモコンスイッチを使用してください。
- 注4 電源電圧の変動は、圧縮機始動時の電圧降下も含み、定格電源の±10%の範囲で使用してください。
電源電圧間の電圧不平衡は2%以内で使用してください。
- 注5 冷温水ポンプの運転は、必ずポンプ連動用信号を用いてください。この製品は、プレート式水熱交換器を使用していますので、ポンプ連動用信号を使用しない場合は、水熱交換器内の水が急速に凍結し、故障が発生する恐れがあります。製品電源投入時は、必ずポンプの電源を投入し、ポンプ連動用信号でポンプの自動運転ができる必要があります。(ポンプ連動端子は、クーラ凍結防止動作として、ユニット停止直後の残留運転および、ユニット停止時に、水温を検知した自動間欠運転を行ないます。従いまして、連動制御を使用する場合はポンプ保護のため停止時に水があること、電磁弁等で水回路が閉塞されないようにする必要があります。)
- 注6 ポンプインターロック回路は、必ずポンプ電磁接触器およびフロースイッチを直列に結線し配線してください。

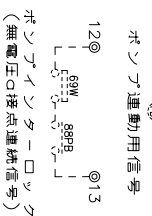
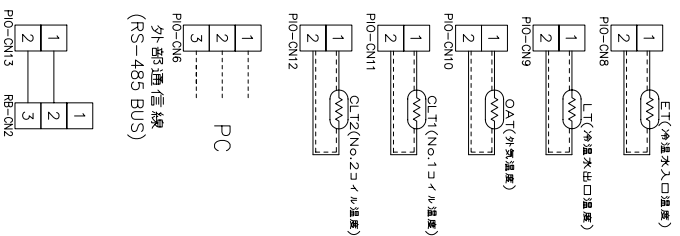
適用機種		作成	照査	承認	JOB番号	品名	チリングユニット 電気配線図(200V)	尺	1
RUA-P3753H					納入先			度	**
RUA-P5003H					客先				
		日付			東芝キャリア株式会社	図面番号	T30RQA202-3	頁	改版
								1 / 2	F

電気配線図

電源
200V-3φ-50/60Hz



リモコンスイッチ(標準付属品)



適用機種 RUA-P3753H RUA-P5003H	作成 照査 承認	JOB番号 納入先 客先	東芝キャリア株式会社	品名 チリングユニット 電気配線図(200V) 左記	尺 1	
					度 **	
日付		図面番号 T30RQA202-3			頁 2 / 2	改版 D